

No. 17-5

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 17 - 5

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		7		作成日		26年 6月 11日		
事務事業名		自主文化育成事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち						課名	社会教育課		係名	生涯学習係
		3-2 文化のかおるまちをつくる							シート作成者			
	施策	3-2-1 多様な文化・芸術活動の支援						予算費目	会計		一般	
									款		10	
主要施策	② 文化イベント等の充実						項		5			
							目		2			
個別計画名												
住民との関わり												
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				様々な文化事業を行い、町民が文化に触れる機会を提供する。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）											
コンサートなどの自主事業のほかに、文化祭、東員「日本の第九」演奏会、こども歌舞伎発表会、音楽祭等の参加型の文化事業を加えることで、町民にさまざまな文化を提供する。												
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 1年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし										
根拠法令・要綱等		文化芸術振興基本法										
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		44,842			33,254			24,043				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		10,514			5,669			1,667			
	一般財源		27,266			24,057			18,848			
直接事業費（千円）A		37,780			29,726			20,515				
人件費（千円）B		7,062			3,528			3,528				
内訳	一般職員（人・千円）		1.07 人 7,062		0.48 人 3,168		0.48 人 3,168					
	臨時職員（人・千円）		人 0		0.20 人 360		0.20 人 360					
成果指標	成果指標名				単位	25年度		26年度	27年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	文化イベント入場者数（平均人数）年間入場者数/イベント数				人	600	870	600	600		
	②											
③												
説明	文化事業への来館者数を検証することで、ニーズに合ったイベントの提供ができているか指標となる。 ※平成25年度の実績人数は、員弁1300年記念事業「石垣定哉美術展」及び「森愛子創花展」を含む。											

事業名	自主文化育成事業	シート作成課	社会教育課
-----	----------	--------	-------

一次評価者	社会教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長
-------	--------	-------	-----------

評価項目の説明	チェック項目		一次	二次	一次の評価又は説明	
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		歌舞伎や第九を柱に、町の文化度を高める必要があります。
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

本事務事業の実施適切性の説明

自主文化事業のうち買取イベントにおいて、チケット収入と委託料に大きく開きが生じます。702席でのイベント実施については、歌舞伎や第九のみの開催とし、興行的催しについては、他ホールでの鑑賞とする方向転換が必要です。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	B	A
今後の方針	今後の改革・改善目標	文化祭、東員「日本の第九」演奏会、こども歌舞伎公演、音楽祭等それぞれの事業の在り方について整理し検討する必要があります。					
	休・廃止	見直し		継続		拡大	
				○			

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続		拡大	
					○		
コメント	子どもから高齢者まで広く芸術文化に身近に親しんでいただける機会を提供する必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--